

令和6年2月9日

議会報告・意見交換会報告書

天童市議会議長 様

代表者 三宅 和広
記録員 古澤 義弘
班 員 村山 俊雄
班 員 斉藤美千代

議会報告・意見交換会を開催したので、その概要を下記のとおり、報告します。

記

1 日 時	令和 6 年 1 月 27 日 (土) 午前10時～	
2 会 場	天童市総合福祉センター	
3 意見交換のテーマ	子育て支援について	
4 意見交換の内容 (議会・議員及び市政 に対する意見、提言、 要望等)	市 民	議 員
	<ul style="list-style-type: none">・学童保育所の運営について、意見、要望を頂いた。 学童保育所への入所者数の二極化が起き、増加している所と減少している所がでてきている。市条例では、1人当たりのスペースが概ね 1.65 m ² 以上、人数が概ね 40 人以下に努めるとなっているが、「概ね」の文言は如何なものか。南部学童においては入所児童が増えているが、指導員の人数が足りない。募集しても応募がない状況である。給料面でも低い傾向にある。また、指導員の中には県外出身者の方もおられ、借家の場合の賃借料	<ul style="list-style-type: none">・核家族や、共働きが増えてカギッ子対策のボランティアから始まったが、規模が大きくなり又、隣近所の応援も薄くなってきている中で、公設民営での運営がなされている。・議員各自がしっかりと行政へ繋げるよう活動していきたい。

	<p>の補助も含め処遇改善の要望を行政に求めて頂きたい。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・「仕事と育児を考えたら子どもは1人しか育てられない」「金銭面でも3人から1人にした」との話も聞く。両親からも子どもは自分たちで見ると言われる。給料が上がらないのが要因の一つに挙げられるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・天童に定着してもらうために、工業団地も整備している。国・県・市で補助が出ている予算の中でしっかりやっていく。 ・今までと同じ事をやるのではなく、先を見越した魅力ある街を作っていくことが大事であり、一人一人の給料を増やすことも大事。無駄を省き、使う所にしっかりと使う必要がある。
	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの貧困の現状と課題 子ども食堂の現状とこれからについて。中部地区や南部地区でも地域食堂をやっている所がある。一人親世帯や、恵まれない子どもにサポートするのが基本である。学童の子どもの中にも朝ごはんを食べてこない子もいる。夕ご飯も一人で食べる子もいる。また、親も朝ごはんを食べない家庭もある。地域食堂と公民館と組んで子ども食堂をやってくれる方がいないのかなと思っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会へまかせきりのように見受けられる。地域の課題として、しっかり耳を傾けていく必要がある。
	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障がい児の療養と保護者の子育て支援や放課後デイサービスの拡充や時間システムについての意見として、学童でも発達障がい児が増えている。デイサービスは終了時間が早く、その後に学童に来る子もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会全体の課題であり、検討を要する事案である。

	<p>一対一で接しないといけない子が増えている。療養と子育てが一緒にできる施設があれば良いのではないか。</p>	
<p>7 所 感</p>	<p>要望やご意見を付箋紙に記入して頂き、テーマごとにディスカッションスタイルで話し合った。様々なご意見を聞くことが出来てとても良かった。</p>	